

# 朝霞市下水道事業経営戦略 (令和8年4月一部改定) 〈概要版〉

経営環境の変化に適切に対応し、効果的な施設の維持保全、長寿命化のための改築等を行うに当たり、今後10年で実施すべき事業と財源の見通しを均衡させ、経営の安定化を図るため経営戦略を策定します。

## 下水道事業の現状と課題 (第2章) P3~P22

- ・本市の汚水管渠は昭和48年から、また、雨水管渠は昭和52年から整備が開始され、耐用年数は50年であることから今後20年以内に更新時期を迎える管渠が急増します。
- ・汚水管渠は令和15年までに約65km、令和16年から令和25年までの10年間では約130kmの管渠が更新時期を迎えます。
- ・雨水管渠は令和15年までに約100km、令和16年から令和25年までの10年間で約40kmの管渠が更新時期を迎えます。
- ・昨今の物価上昇等、本市の下水道事業を取り巻く経営環境は厳しさを増していることから、適正な下水道使用料の水準を検討するため、朝霞市上下水道審議会に諮問を行いました。その結果、令和7年10月に下水道使用料の改定が必要であるとの答申が示されたことから、令和8年4月から改定することとなりました。なお、改定後の使用料の水準は県平均を下回っています(次頁参照)。

## 今後の主要事業の予定 (第3章) P23~P25

○今後10年間の老朽化施設に対する維持管理事業への投資

### 汚水施設老朽化対策

事業内容	事業量	概算事業費
点検	約220 km	5,400 万円
カメラ調査	約35 km	1 億1,900 万円
修繕・改築	約4.1 km	11 億2,900 万円
仲町中継ポンプ場	電気施設等の改築更新	4 億5,100 万円
合計		17 億5,300 万円

### 雨水施設老朽化対策

事業内容	事業量	概算事業費
点検	約60 km	1,300 万円
ポンプ・電気設備改築		1 億7,700 万円
合計		1 億9,000 万円

## 財政収支計画 (第4章) P26~P31

### 財政収支の将来見通し

- ・収益的収支においては、令和7年度までは全ての費用を使用料収入では賄えず、基準外繰入を行ってきましたが、令和8年度の使用料改定により、基準外繰入を解消し、毎年約2億から3億円程度の黒字となる見通しです。
- ・資本的収支は、企業債や国庫補助金、一般会計負担金等を財源としていますが、これらの財源で賄いきれない支出については、内部留保資金を取り崩して補てんします。

### 経営基盤の強化を図る取組

- ・令和2年2月に策定した下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化施設の適切な維持管理に努め、長寿命化を図ることにより、更新費用を縮減するほか、不明水対策に取り組みます。
- ・下水道事業を取り巻く環境の変化に対応するため、朝霞市上下水道審議会の答申を踏まえ、使用料水準の見直しをおおむね5年ごとに実施します。

## 埼玉県内市町の下水道使用料の比較【参考】

本市の改定前の下水道使用料は、県内で下から2番目の安さです。

